

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】伊賀市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
18	2007.3.29			三重県	伊賀市	100,623	558
構想の要約		生ごみ及び動植物性残さ、家畜排せつ物、木質系廃棄物などを、堆肥・加工製品、またはエネルギー源として、地域の産業特産物の生産等に利用することで、1次産業から2次、3次に繋がる6次産業となるバイオマス地域活用システム構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. 堆肥製造施設 2. バイオマス燃料製造施設 3. BDF製造施設 4. 木質系バイオマス活用施設 5. 大学等高等教育機関地域連携施設 6. 地域活性化施設					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物(菜の花)	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2007.3.29バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)

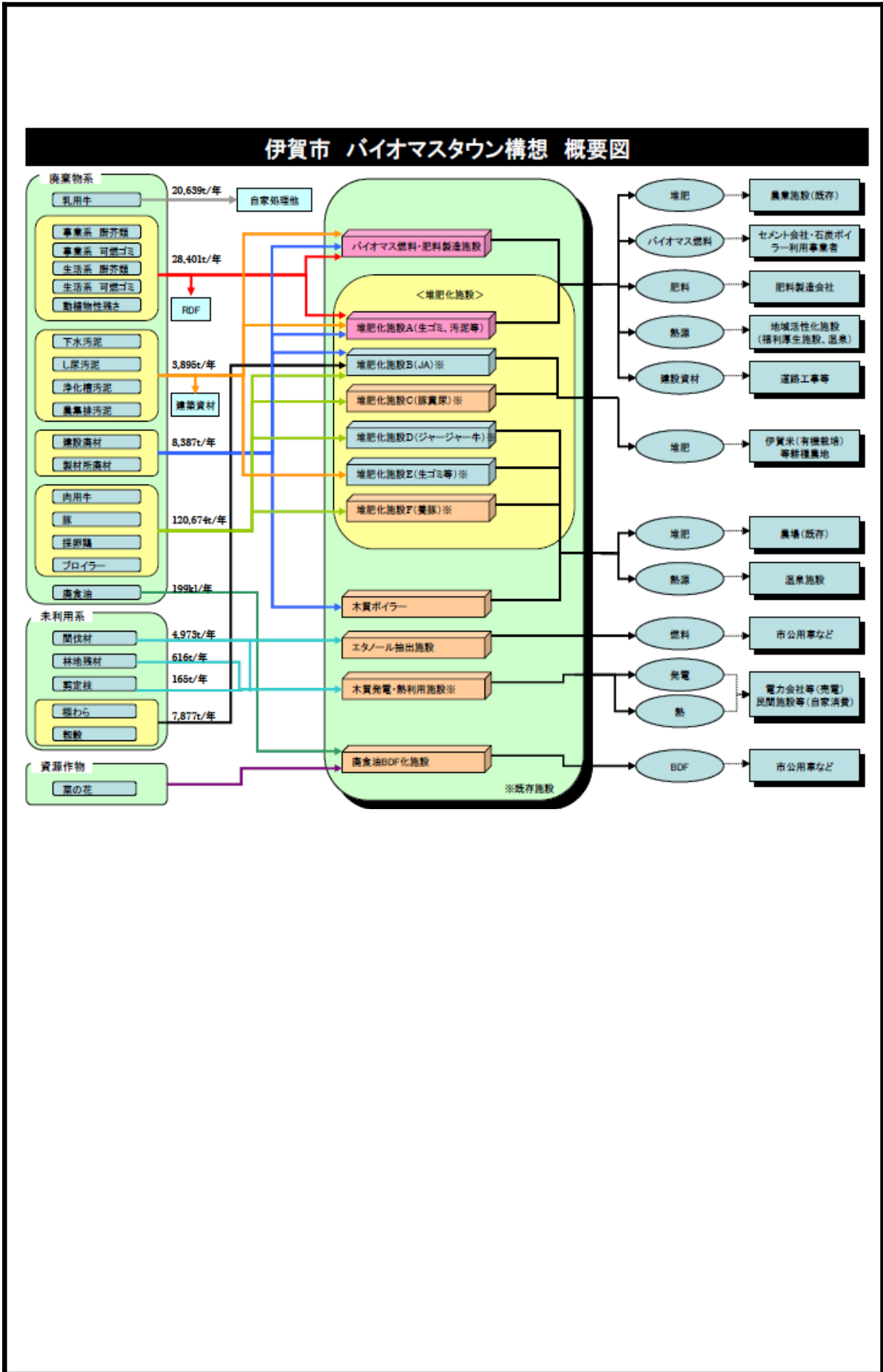
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス		賦存量 (t/年)	変換・ 処理技術	仕向量 (t/年)	利用・販売	利用率
廃棄物系						99%
家畜 排泄物	乳用牛	20,639	堆肥化	20,639	農地還元	100%
	肉用牛	29,624	堆肥化	29,624	農地還元	100%
	豚	55,991	堆肥化	55,991	農地還元	100%
	採卵鶏	27,325	堆肥化	27,325	農地還元	100%
	ブロイラー	7,734	堆肥化	7,734	農地還元	100%
下水汚泥		733	きゅう・堆肥化、乾燥	733	農地還元、燃料	100%
し尿汚泥(浄化槽汚)		2,987	きゅう・堆肥化、乾燥	2,987	農地還元、燃料	100%
農集排汚泥		175	きゅう・堆肥化、乾燥	175	農地還元、燃料	100%
生ごみ等		29,225	RDF化、堆肥化、飼料化	27,130	固形燃料(発電・熱供給)、農地還元	93%
動植物性残さ		1,412	堆肥化、飼料化、燃料化	1,271	農地還元、燃料	90%
廃食油		222	BDF化	199	燃料	90%
建設廃材		3,533	破碎選別	3,533	製紙原料、農地還元	100%
製材所廃材		4,854	破碎選別	4,854	燃料	100%
未利用						43%
間伐材・林地残材		8,644	破碎、エタノール抽出	5,589	燃料	65%
剪定枝		165	破碎、堆肥化	165	燃料、農地還元	100%
稲わら		14,315	飼料化	609	飼料	4%
籾殻		7,268	—	7,268	敷料等	100%
資源作物						
菜種(菜の花)		10	BDF化	10	燃料	100%

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)